

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2012年49週 (12月1週12/3~12/9)

2012年11月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、インフルエンザ  
定点医療機関コメント  
感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、インフルエンザ、  
マイコプラズマ肺炎、水痘 等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(27)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、つつが虫病  
(1)、レジオネラ症(1)、急性脳炎(1)、後天性免疫不  
全症候群(3)、梅毒(1)、バンコマイシン耐性腸球菌感染  
症(1)、風しん(1)

2012年11月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### 感染性胃腸炎(図1)

48週(11/26~12/2)の定点(小児科182定点)当たり報告数が19.73と警報レベル(定点当たり20以上)に近づいたことから、愛知県は警報を発令しました(12月6日)。

49週の定点当たり報告数は20.75、48週3,590人、49週3,777人(1.05倍)です。

#### 【参考ページ】

“感染性胃腸炎”警報を発令します!!(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/0000056944.html>

胃腸カゼ、嘔吐下痢症の集団発生(ノロウイルス感染症)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/nlv.html>

疾患別ウイルス検出情報

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

感染性胃腸炎の注意喚起について(豊田市)

[http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1247904\\_7011.html](http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1247904_7011.html)

感染性胃腸炎が流行しています(豊橋市)

[http://www.city.toyohashi.aichi.jp/hodou/cgi-bin/index.cgi?p=hodou\\_detail&id=2676](http://www.city.toyohashi.aichi.jp/hodou/cgi-bin/index.cgi?p=hodou_detail&id=2676)

感染性胃腸炎の流行状況を踏まえたノロウイルスの一層の

予防の啓発について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dl/20121127-01.pdf>

<速報> ノロウイルスGII/4の新しい変異株の遺伝子解析と  
全国における検出状況

<http://www.nih.gov/nid/ja/norovirus-m/norovirus-iasrs/2957-pr3942.html>

### RSウイルス感染症(図2)

49週の定点(小児科182定点)当たり報告数は1.37、48週220人、49週250人(0歳115名、1歳67名、2歳41名、3歳13名、4歳10名、5歳4名)で、2歳未満の報告数が全体の73%を占めています。

#### 【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

### インフルエンザ(図1)

49週の定点当たり報告数は0.41、48週54人、49週80人です。  
2012/2013シーズンに病原体定点から寄せられた検体よりA香港型(AH3)、集団かぜ患者検体よりB型(山形系統)インフルエンザウイルスが各1件検出されています。

#### 【参考ページ】

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map_new.html)

インフルエンザの予防について(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/0000045882.html>

インフルエンザ対策に関する通知文書(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/0000045826.html>

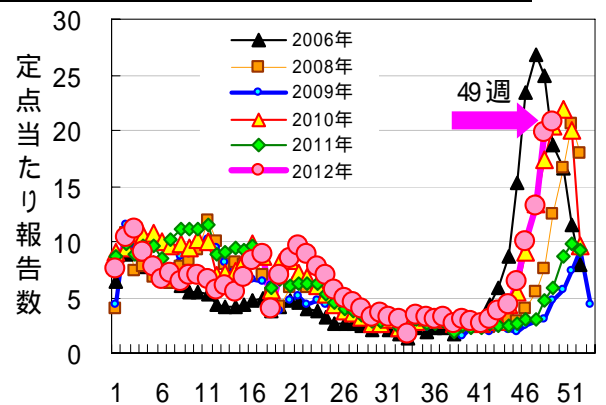


図1 感染性胃腸炎

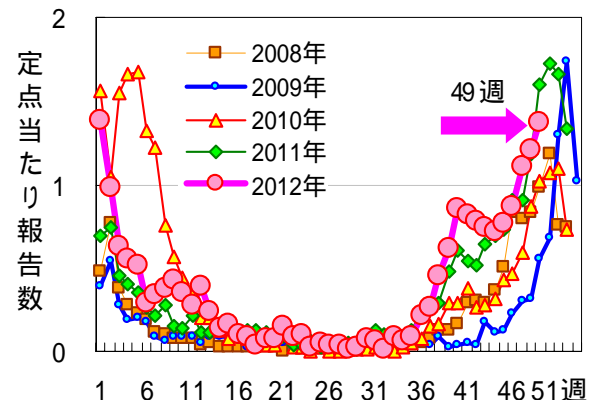


図2 RSウイルス感染症

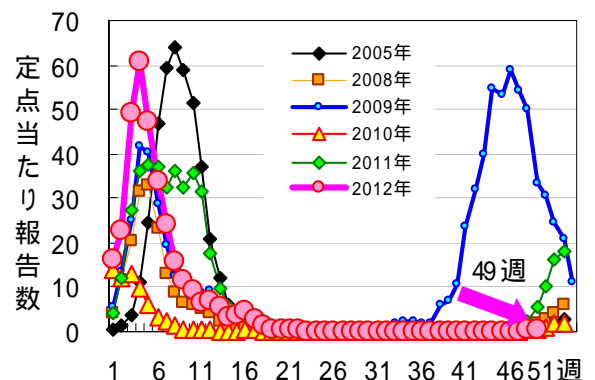


図3 インフルエンザ

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

7歳男 カンピロバクター腸炎  
 感染性腸炎急増  
 1歳女、3歳男 RSウイルス感染症  
 【一宮市 あさのこどもクリニック】  
 感染性胃腸炎流行  
 アデノウイルス感染 1名 7歳女  
 【一宮市 後藤小児科医院】  
 マイコプラズマ感染症 4名  
 アデノウイルス感染症 4名  
 【一宮市 ささい小児科】  
 ウイルス性胃腸炎は毎週増加傾向です。  
 【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

水痘 11名  
 A群溶連菌 12名でした。  
 12月10日AM B型インフルエンザが1名  
 ありました。  
 【犬山市 武内医院】  
 感染性胃腸炎、アデノウイルス感染症が目立ちます。  
 【江南市 みやぐちこどもクリニック】  
 RSV感染症、水痘多発  
 感染性胃腸炎多発  
 溶連菌も続発中  
 【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】  
 胃腸カゼ多発して居ります。  
 【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

インフルエンザA型 2名  
 その他、水痘、溶連菌、胃腸炎多くみられます。  
 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
 インフルエンザはA型です。  
 【日進市 おぎす内科クリニック】  
 感染性胃腸炎あいかわらず多いです。RSV  
 感染症も続いています。  
 【小牧市 小牧市民病院】  
 感染性胃腸炎、RSウイルス感染症が続いています。  
 【小牧市 志水こどもクリニック】  
 感染性胃腸炎が多いです。  
 【春日井市 かがわこどもクリニック】  
 感染性胃腸炎多数  
 A型インフルエンザ 2例  
 【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
 RSウイルス感染症、胃腸炎が依然多いです。  
 【春日井市 春日井市民病院】

感染性胃腸炎が多いようです。  
 【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】  
 インフルエンザA型 2名(2歳女、3歳男)  
 感染性胃腸炎流行中  
 【南知多町 医療法人大岩医院】  
 3歳女 マイコプラズマ  
 8歳男 マイコプラズマ  
 ノロウイルスと思われる胃腸炎が多いです。  
 【大府市 まえはらこどもクリニック】  
 ウイルス性胃腸炎多いです。  
 ノロウイルス陽性 2名(4歳、8歳)  
 病原大腸菌O25陽性 1名(4歳)  
 RSウイルス感染症 1名(1歳)  
 アデノウイルス扁桃炎 1名(5歳)  
 【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

イムノエースアデノ(+) 4歳男、5歳男、5歳女  
 イムノエースFluA(+)H1N1(-) 5歳男、9歳女  
 StrepA(+) 4歳女、11歳男  
 E.coli(O25) 6歳男  
 マイコプラズマ肺炎 6歳女  
 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
 便アデノ 8か月男 11か月男  
 マイコプラズマ 6歳男  
 病原性大腸菌O18(+) 4歳男  
 手足口病散発例あり  
 【岡崎市 花田こどもクリニック】  
 11か月女 病原性大腸菌O1(+)VT(-)  
 アデノ 1歳男 5歳女  
 マイコプラズマ 5歳女 9歳女  
 RSV 7か月女  
 【岡崎市 にいのみ小児科】

RSV、溶連菌感染症、感染性腸炎目立ちます。  
 【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
 RS陽性 5名  
 アデノ陽性 3名  
 【知立市 宮谷クリニック】  
 感染性胃腸炎流行  
 溶連菌感染症も目立ちます。  
 【碧南市 永井小児クリニック】  
 マイコプラズマ肺炎 7歳(女)  
 【幸田町 とみた小児科】  
 [48週 追加コメント]  
 RSV、感染性腸炎が目立ちます。  
 【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

東三河地区

インフルエンザB型 12名(4歳から35歳まで)  
 【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】  
 感染性胃腸炎流行中  
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
 6歳男 マイコプラズマ肺炎  
 【豊橋市 医療法人野村小児科】

感染性胃腸炎が目立ちます。  
 インフルエンザ児は豊橋市在住です。  
 【田原市 かわせ小児科】  
 [11月報 STD 定点コメント]  
 トリコモナス 44歳女 1名  
 【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況(愛知県全体・保健所受理週別)2012年12月5日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun110905.pdf>

結核 (二類感染症)

報告保健所	2012年49週報告数			2012年累計(1～49週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	11	3	3	739	170	191
豊田市				78	17	31
豊橋市	1	1		64	17	15
岡崎市	4	2		76	26	20
一宮	1			120	32	24
瀬戸	1			114	23	28
半田				58	21	17
春日井				95	30	13
豊川				70	19	19
津島				85	16	17
西尾	1			39	10	10
江南	1	1		62	16	16
新城				8	3	3
知多				75	31	21
師勝				31	11	7
衣浦東部	7	4	1	96	33	22
合計	27	11	4	1,810	475	454

腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	68歳	男	11/28	11/29	12/7	O157、VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

つつが虫病（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	65歳	男	国内

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊橋市	85歳	男	肺炎型	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	75歳	女	病原体不明	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	48歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	39歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	35歳	女	無症候性キャリア	性的接触	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊川	48歳	男	無症候	性的接触	国内

バンコマイシン耐性腸球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	瀬戸	88歳	男	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	34歳	男	不明	国内

2012年11月報 (2012年12月12日現在、診断週に基づく集計)

11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [ ( )は無症状病原体保有者再掲。]

2011～2012年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数	2012年11月			2012年 累計 <愛知県全体>	2011年 総計 <愛知県全体>	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体			
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (5) 結核	81 (16)	51 (11)	132 (27)	1,782 (450)	2,083 (558)	
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (1)	14 (0)	
腸管出血性大腸菌感染症	7 (3)	3 (0)	10 (3)	156 (58)	121 (33)	
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	
パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	
四類 (42) E型肝炎	0	0	0	1	2	
A型肝炎	0	0	0	7	4	
チクングニア熱*	0	0	0	0	2	
つつが虫病	0	0	0	1	4	
デング熱	0	0	0	13	9	
日本紅斑熱	0	0	0	0	3	
ボツリヌス症	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	3	6	
ライム病	1	0	1	1	0	
レジオネラ症	1	2	3	46	41	
五類 (16) アメーバ赤痢	6	3	9	58	43	
ウイルス性肝炎	0	0	0	10	11	
内訳	B型	0	0	0	10	8
	その他	0	0	0	0	3
急性脳炎	0	1	1	17	12	
クリプトスポリジウム症	0	0	0	1	0	
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	9	3	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	10	14	
後天性免疫不全症候群	0	3	3	111	127	
内訳	無症候性キャリア	0	2	2	69	74
	AIDS	0	1	1	38	50
	その他	0	0	0	4	3
ジアルジア症	0	0	0	1	4	
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	0	
梅毒	2	0	2	34	44	
内訳	無症候	1	0	1	18	19
	早期顕症	1	0	1	12	21
	晚期顕症	0	0	0	4	4
破傷風	0	0	0	4	7	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	1	4	0	
風しん	5	3	8	91	13	
麻しん	0	1	1	39	32	
総計	104	67	171	2,415	2,604	

\*2011年2月からの報告対象疾病

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2012年11月			2012年 累計	2011年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	73	59	132	1,510	1,560
	性器ヘルペスウイルス感染症	28	32	60	643	632
	尖圭コンジローマ	18	9	27	333	344
	淋菌感染症	23	32	55	587	714
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	66	22	88	1,226	1,411
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	7	1	8	103	155
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0	1	5	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0	1

\*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。



